評論・深遠の暁　第2巻

評論・ザルクセスの神秘の書

第2巻

マンカー・キャモラン　著

アルタドゥーン





この文書を見つけた者が誰であろうと、兄弟と呼ぼう。



解答は解放へとつながり、ヌマンティアを知ることになったマルビオージの奴隷たちは、ザルクセスの神秘の書がアーケインと呼ぶ看守王マズティアックを打ち倒したのである。マズティアックの死骸は彼に仕えた生ける死体たちによって市中を引きずり回され、その肉は岩場に広げられ、彼を愛した天使たちは「すべての者たちに自由意志を知らしめ、したいようにさせるがいい!」と叫び、もう彼の甘い霊液を飲もうとはしなかった。



兄弟よ、君が来ることは神デイゴンの刃の書に予言されていた。偶像が一人また一人と去ったせいで、君はここに来ることになったのだ。まだ君に注がれてはいない瞳の視線の中で、君は称えられている。田舎の若者であった君は旅慣れた者となり、覆いの破壊者となる。兄弟よ、君は私と一緒に楽園に座り、すべての未知なるものから解放されるのだ。私は君に神の書と、多くの羽毛がついて汚れた注釈書を渡そうと思う。そうすれば君はすでに知っていることを記号に当てはめることができる。つまり、破壊の球体は、奴隷にされていない者の乳に過ぎないということを。君がつまずいたとしても私は責めたりしない。それは予期されたことだし、油によって神の恩寵を与えられている。私は君の失墜を強く望んだりはしない。たとえ、君が失墜しなければ、来たるべき世界において君が永遠に私をしのぐことになろうともだ。神デイゴンが君に望むのは災難ではなく、極めて重要な事柄だ。神が望むことなら君も望むべきだ。神の書から次のことを学ぶがいい。これが求めの儀式だ。



地にささやけ。地中にいるおせっかい屋は、血の中にしか石を受け入れない。血こそが血なのだから。そして骨の亀裂にも。骨こそが骨なのだから。ゆえに、1と1の前に、亀裂を入れ、答え、落ちるために、私は兄弟として、王として、君をドラゴンと呼ぶ。



ドゥルーの皮：7と7、一口分の油、1と1、濡れたディベライトによって描かれた円：3つの同心円、卑しい血が流れるままにし、クロウタドリに見守られた出生：先に暖火。聴覚が不明瞭になってきたら、以下の呪文を唱えよ。



有頂天となって、その者はようやく記録から消される。



記録されて、奴隷たちは知ることなく輪を回す。



奴隷となって、オルビスの子供たちは皆、そのままでいる。

評論・深遠の暁 第**2**巻

FormId	skyrim.esm:086EF9
Owning plugin	skyrim.esm
Local FormId	086EF9
Editor ID	DA07BookMythicDawnCommentariesV2
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyBookDA07
Value (gold)	25
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.